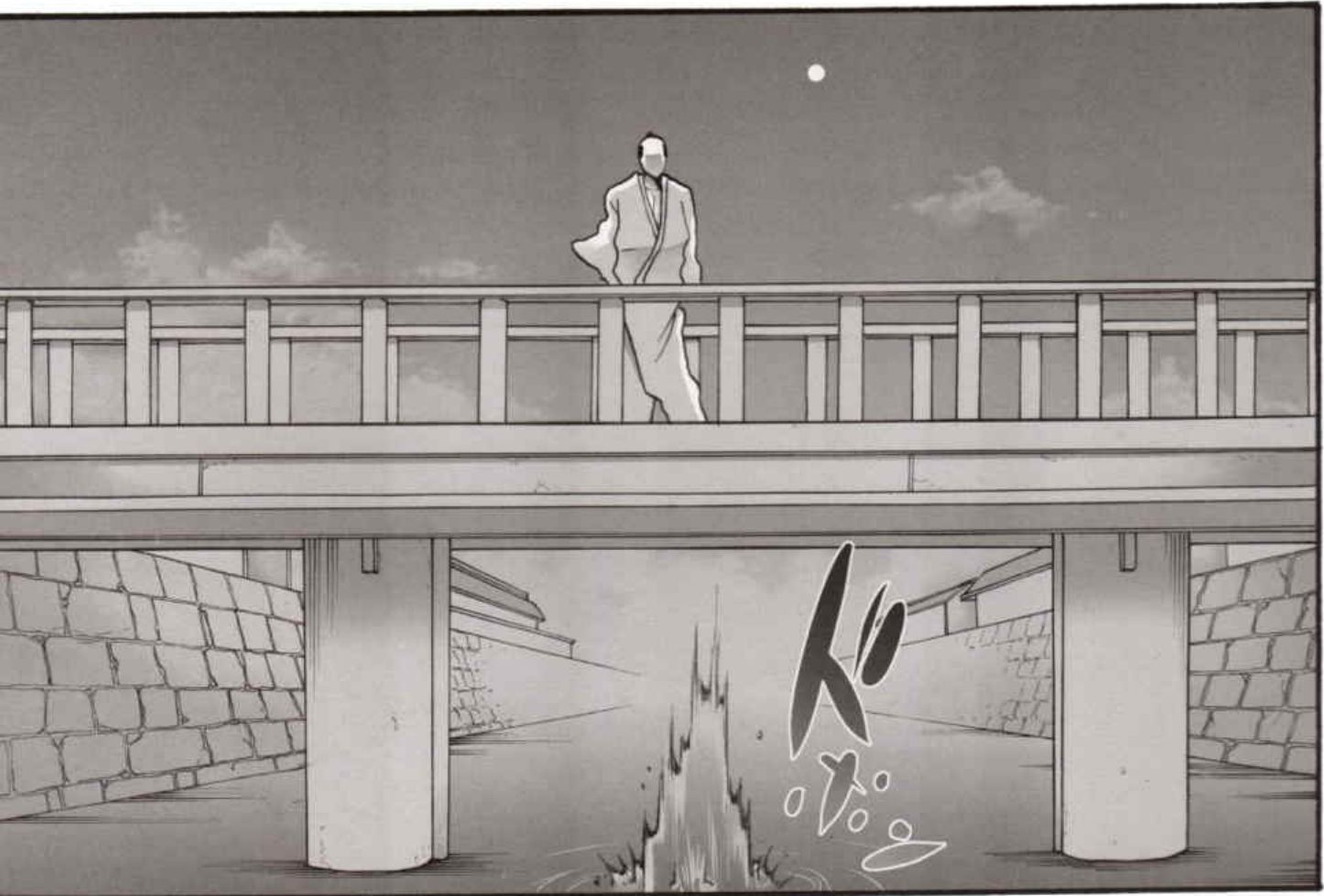
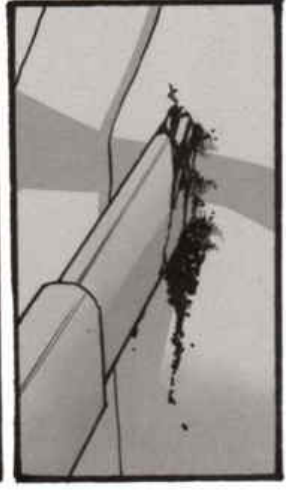




月  
水  
に  
さ  
ん  
が  
ま  
ま  
う  
ま  
の  
4

※十八歳未満の購読を禁じます  
著 かつおぶし



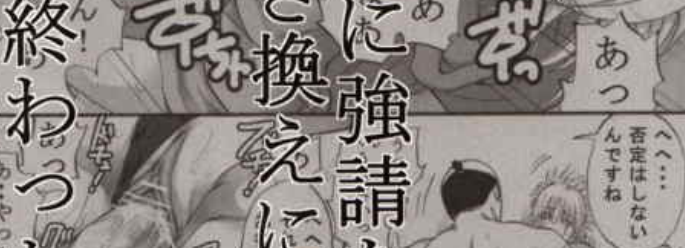
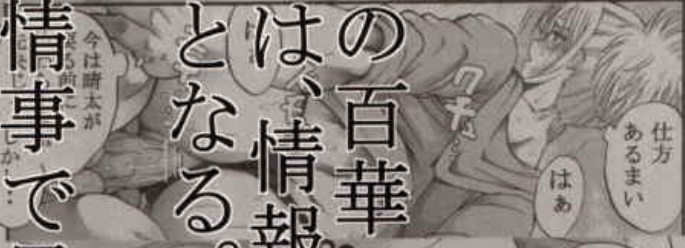
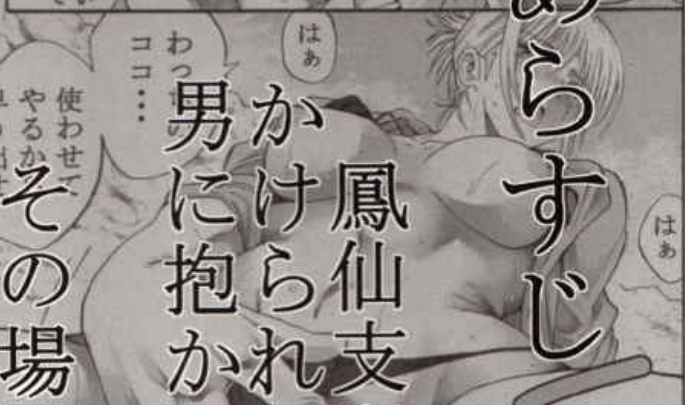
# あらすじ

鳳仙支配下での百華の行状をネタに強請を  
かけられた月詠は、情報の隠蔽と引き換えに  
男に抱かれる事となる。

その場限りの情事で男との取引が終わった  
と安堵する月詠。だが再び男は現れた。

月詠が抗えぬ事情に付け込み執拗に淫行を  
繰り返す男。屈辱にまみれながらも陵辱され  
続ける他に術のない月詠。

果たしてこの悪夢に終焉は訪れるのだろうか。





手配書は  
廻ってきたか？

捕らえた者には  
五万両  
生死は問わねえ



女を  
仕込んで売る  
女術って話だ

美味え話だぜ  
組での出世も  
間違いねえ



その話  
詳しく聞かせて  
もらえぬか？

あん？

そりゃあ  
あんたの心がけ  
次第だろうよ

！



わざわざ  
訪ねてくれるたあ  
あつしの温もりが  
恋しくなり  
ましたかね

驚いたな  
まだ軽口を  
叩きおろすのか

何の諍いかは知らぬが  
組頭を殺めたのは  
威勢が良すぎたのう

江戸中の筋者が  
ぬしを血眼になって  
探しておるぞ

理由

知りたい  
ですか？

数日後には  
土左衛門に  
なられる御仁に  
興味も何も  
ありません

はは……  
こいつあ  
手厳しい

ところで  
月詠さん



抱きたくな  
なっちゃいま  
いましたよ

んんっ  
!!!

あゝ



今なにか  
飲まされた!?  
それに  
この香り...



ようやく  
効いて  
きましたかね

あゝ...  
!!?



こんな時につ...  
血迷うたか!

こんな時  
だからこそ  
じゃないですか

ぼた

また

また

墮淫香

このっ…

くっ…

女はより女に  
男はより  
男につて  
香ですよ

しかもこいつは  
便利なことに  
中毒性が極めて  
高くてね

う…

くっ…

使えば使うほど  
効果が高まるって  
シロモノなん  
ですよ

ぬっ…

離っ…んっ…  
さぬかっ!

月詠さんにも  
憶えのある  
香りでしょう

やめんか…  
こらっ…!!

くうっ

ヤン…!!

…あっ!

あっ…!!



いいじゃないですか  
何度も愛し合った  
仲でしょうよ

グググ...

妄言を弄すな！  
望んだ事など  
一瞬たりとも  
ないわっ！

いいですね  
そそりますぜ  
あつしはその方が  
燃えるんですよ

んっ！  
ギョッ

やめんかっ...！  
くっ...んっ...  
このっ...！  
いい加減に  
せぬかっ...！

ギョッ

ギョッ

ギョッ

んん...

くっ！

離さぬか！  
痴れ者が！

ぬかったわ...  
自覚できる程に  
香の効果が  
回ってきておる

はあ

これはいかん...  
力が入らぬ上に  
厄介な事は...

はあ



やあ...

あつ...

はあ どこを...  
触っておる

あつ...

あつ



これだけ極上の肉  
飽きる事なんて  
有り得ませんぜ

ふっ...  
ざけるなあ...!

はあ

あつ



くう...  
なんとか  
して...

香の効を:  
止め:ねぼ:

はあ

はあ

またまた  
ご謙遜を

はあ

はあ



はあ

こやつが  
触れた所  
すべて:

身体の奥から:  
熱くなってくる...

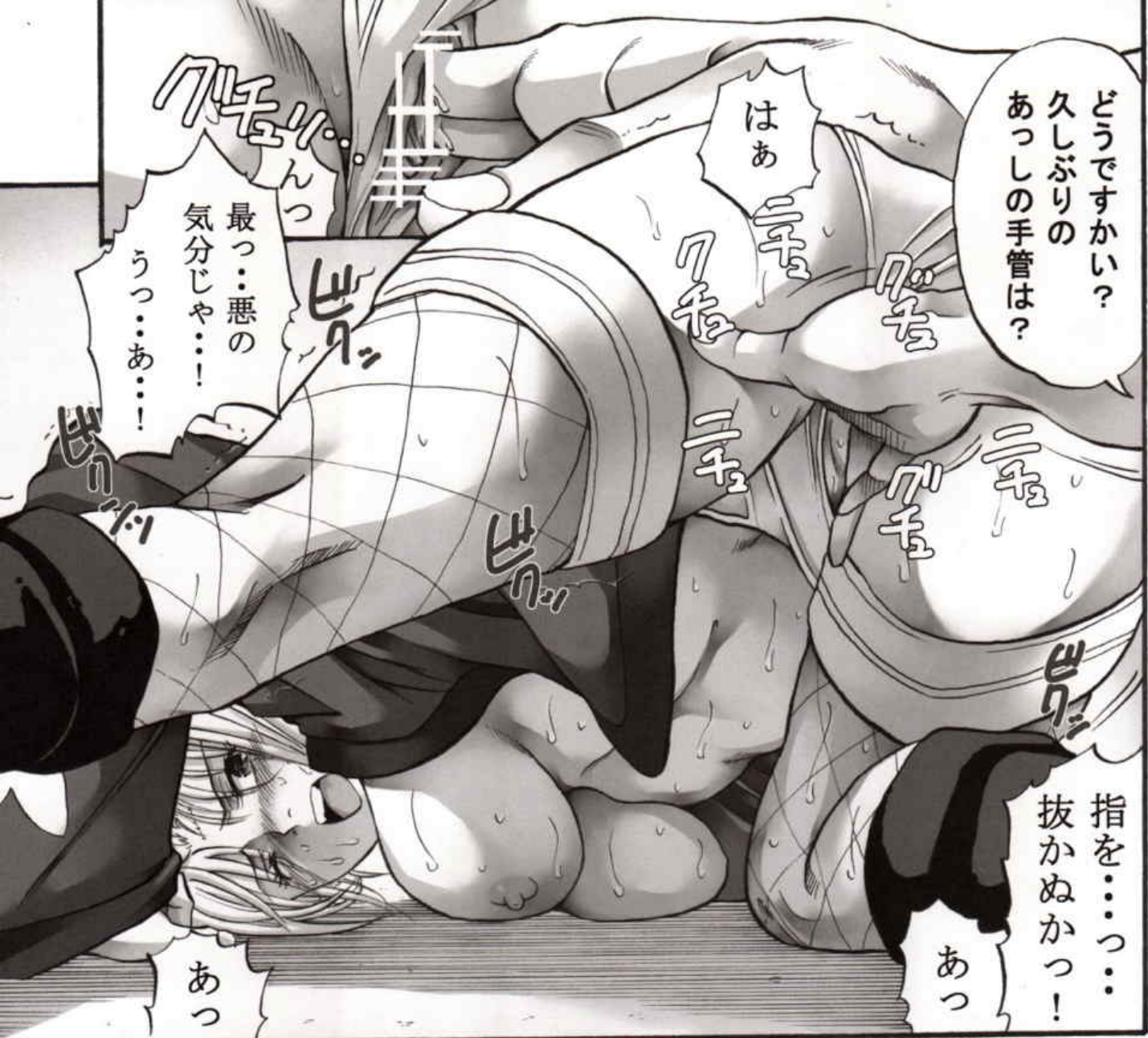
このっ...

散々勝って  
おいてっ...  
まだ足らぬか!

はあ

あつ...





どうですかい?  
久しぶりの  
あっしの手管は?

はぁ

最っ...悪の  
気分じゃ...!  
うっ...あ...!

指を...っ...  
抜かぬかつ!

あつ

あつ



どこまで  
持ちます  
か ね

月詠さんの体あ  
知り尽くしている  
つもりですぜ

誰がぬし  
如きにっ...

調子にっ...  
乗るでない!

はぁ  
はぁ

はぁ  
はぁ



はあ

そう言われると  
哭かしくなる  
性分でしてね

もっとも  
こっちはもう  
哭いてるみてえ  
ですがね

んっ

これしきの  
事で...  
いい気に...んっ...  
なりなんしっ!

まさか  
これしきで  
終いだと  
お考えで?

んっ

はあ

もっも

もっも

にちや

にちや

くちや

くちや

はあ

はあ

くちや

くちや

くちや

んっ

あっ!

ええいつ  
離さぬか!

いつまで  
撫で回せば  
気が済むか!



月詠さんが  
思っている以上に  
あつしはツボを  
心得ていますぜ

あっ!

あっ!

あつ...  
やめつ...

そこ...あ...  
あつ...やつ...  
やめぬかつ!

あ!

いいですかね  
月詠さん

んんっ！

そろそろ  
イカしち  
まいますよ

どこまでも  
自惚れ……  
おつて……！

ここが  
良いんでしょう？  
イツちまい  
なさいよ  
ホラ！

やめっ……  
あつ

あつ！

ホラ！

んんっ！

!!!!

んんっ  
……  
!!!

へへ……

オレも辛抱  
たまりま  
せんぜ……

はあ

はあ

はあ



月詠さんの  
中あまるで  
極楽ですぜ

あつ  
はあ

くっ わっちには…  
地獄じゃ…!

つれない  
ですわえ

あつ

こんな  
気持ちい  
つてのに

はあつ

はあつ

わっちには  
不快なだけ  
じゃ…!!

はあ

アッ  
ブッ

ズ  
ン

ヌ  
ル

ズ  
ン

良いのは  
ぬしだけ  
じやろう!

はあ

ス  
ン

そうです  
かねー?

う…あ…

こっちは  
美味そうに  
啜え込んで  
ますぜ?

ぬ  
ち

ぬ  
ち

ぬ  
ち

あ

あつ

ぬ  
ち





月詠さん どうしました

へへ…



こんな下衆に 好き勝手されて いるとゆうのに…

まさか… ありえぬ…

はあ



あつ

はあ

はあ

あつ

はあ



もしかして あんまり良過ぎて 憎まれ口も 叩けませんか？

はあ

…!! すまぬな

あまりに ぬしの行為が 退屈でな

はあ

はあ

あつ

ズブツブ はあ はあ

んっ… フズキ

呆れて…っ 言葉が出ぬ だけよ…っ!



そうゆうのが  
たまんねえん  
ですよ  
中に出しちゃ  
まっても  
いいでしょ？

はあ

はあ

んっ……くっ……  
馬鹿かぬしは！

いいわけが  
なかるうっ！

はあ



ああ やべえ  
こんな早漏じゃ  
まるでガキ  
みてえですな

たまんねえ  
良すぎますぜ  
月詠さん

あつ  
人の話をっ……  
んっ……っ……  
聞か……ぬかっ！

あんっ

あ

やめい……  
こら！

ああ もう  
出ますよ  
我慢できねえ

あつ



はうっ

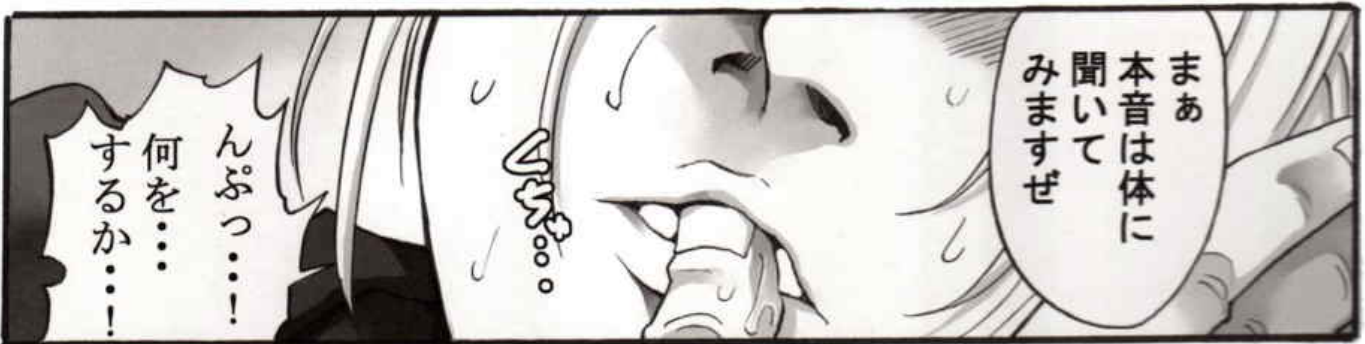
出しちま  
いますよ  
月詠さん

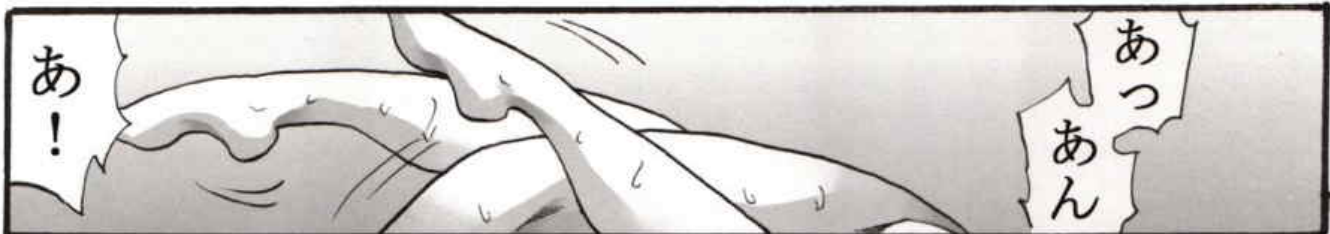
あつ

あんっ

あ……！  
だめ……  
やめい……！







あつ  
あん

あ！



ズッ  
ズッ  
ズッ

はあ  
ズッ

あつ

だめじゃ  
待てっ：

しばし…っ…  
待たぬか…！

どうしました？  
あつしのワザが  
たまりませんか？

そうでは  
ないが…

あつ

くはっ  
はあ

ズッ  
ズッ  
ズッ

ああ  
あん…



なんじゃ…？  
昂ぶりが  
まるで  
収まらぬ…！

あ

いかん…  
こんな事を…  
このまま  
続けられては  
…！！



はあ  
へへ…  
凄え…

あつ…  
んっ…！  
…んんっ！

はあ

はあ

さつきから  
イツてばかりだ  
月詠さん



可愛い乳首  
おっ起てて  
敏感に反応して  
くれますね  
嬉しい限りでさあ

あ  
もみ

あつ  
む



へへ……

香が回っても  
鋭いですね  
月詠さん



はあ

情けない  
男じゃな……

香がなければ  
女も抱けぬか



ほざけっ……!!  
ぬしの指を  
舐めてから  
何かおかし  
のじや……!!

あ

はあ

ズ

このっ……  
卑怯者!

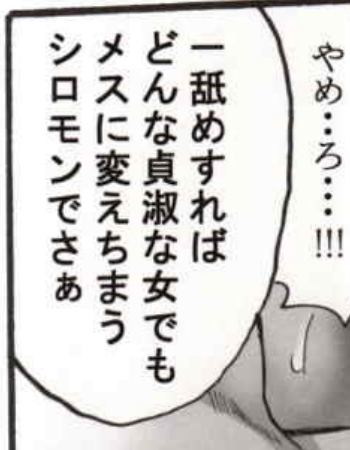
指先に何か  
仕込んで  
おったなっ!

あ

ズ  
ズ

はあ

あつ



やめ……ろ……!!!  
んっ……

一舐めすれば  
どんな貞淑な女でも  
メスに変えちまう  
シロモンでさあ



あつ

こいつは  
墮淫香の濃液  
でしてね

あ

へへっ…  
わかるでしょ  
マン汁でお股が  
ぬるぬるですよ

あつ

はあ

はあ

卑しい房術に  
長けている  
如きで…  
いい気に  
なりなんし!

大した頑張り  
ですがね

チンポ突っ込まれ  
ながらってのは  
些か滑稽ですぜ

だっ…  
黙れ…!

んっ…  
この…!

はあ

はあ

はあ

イキたくて  
たまんねえって  
顔してますぜ

あつしも  
出しちまい  
そうですぜ

はあ…あつ  
やめっ…

ヌキ

ヌキ

ヌキ

ヌキ

ヌキ

ぬしのような  
下衆にこんな  
辱め…っ…!

はあ

はあ

はあ

はあ

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

やっ…あ…  
あ…あつ…  
い…くうっ

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

あ!

くうっ  
いい締まり  
してますぜ

あ…!

あ…!

あ…!

あ…!

あ…!

あ…!

あ…!

あ…!

あ…!



あつ……！  
ぬしっ……  
また……んっ……  
出しおったな

へへっ  
中に出されて  
いったでしょ？  
満更でもない  
じゃないですか



口惜しいわ……  
んっ……うう……  
こんな……

香さえ  
なければ  
ぬし程度の  
男……っ！

歯牙にも……  
かけ……てっ……  
おらぬわっ……！



かもしれませんが  
こうして今  
あつしと肌を合わせ  
ている事実は  
変えられませぬ

濡れた肌は  
物欲しそうに  
吸い付いて  
きやがる

下の口は  
嬉しそうに  
啜えて離さねえ

体は喜んで  
いるんじゃない  
ですかねえ





図星……  
快樂が止まらぬ……  
もっと欲しいと  
求めたいほどに……

はあ  
はあ  
はあ

だが悟られては  
ならぬ……  
奴の掌中に墮ちる  
わけにはいかん……!

はあ  
はあ  
はあ  
はあ



我慢は体に  
毒ですよ

一緒に愉しみ  
ましょうや  
せつねえ顔  
してませ

……っ！



こんな事っ  
……っ！

どう……  
……して……  
愉しめる  
ものかっ……!

こうして……  
……んっ……く……  
好き……勝手  
犯されて……

屈辱でしか  
ないわっ！

あっ  
あっ  
あっ

はあ  
はあ



くはっ  
あっ  
……っ！

へへ……  
体は正直な  
もんですがね

あっ……あん！



わかりますよ  
その強がりも  
精一杯ってとこだ  
んっ!

なっ...  
何を...!?

このままじゃあ  
どうにかなっちまい  
そうなんでしょう



あ...  
頑張り  
ましたぜ  
はあ

立派に  
意地を通し  
ましたよ



ヤバイくらい  
出来あがっち  
まってる



ぬしっ...  
何を根拠に  
...っ!  
妄言を  
弄すなっ!

お互い香に  
酔っているん  
ですぜ

月詠さんは  
あつしより  
辛えハズだ

んっ...!っ...!



でも  
これ以上は  
無理ですぜ

はあ

ホントに  
おかしく  
なっちまう

はあ

香のせいだ  
月詠さんは  
悪くねえ



誰にも知られねえ  
月詠さんは  
ただ身を任せて  
いただけでさあ

はあ

はあ

はあ

こっから先はもう  
仕方のない事で  
しょうよ

ああ……  
そうか……

この男から  
逃れられぬ  
はずだ

こやつはきつと  
初めて出会う  
その以前から

どうりで  
無手のわっちが  
敵わぬわけだ

んん……!

んふっ……  
ん……ん……  
んっ……!

綿密に  
今日までの策を  
張り巡らせて  
おったのだろう

んん

!!!

不覚  
ただのチンピラと  
侮っておったわ

へへ…  
月詠さん  
今またイキ  
ましたよね？

フワ

はあ  
あつ



もう何度  
イッたかも  
わかりませんね

あつ

あ  
あ

そうじゃ…！

悪いかつ  
…！！

フワ

んっ…ぬしに…  
突かれて…っ  
何度も絶頂して  
おるっ…！！

フワ

フワ

あつ！

これであつ…  
んんっ…あつ…  
満足か…っ！

フワ

あつ

フワ

あつ

あん

ああ…  
なんたる…  
なんたる様じゃ…  
あ！

あ！

はあ…  
止まらぬ…

また…  
イク…っ

フワ

フワ

んんっ

うっ…

はあ

いい感じに  
仕上がって  
きてるじゃあ  
ありませんか

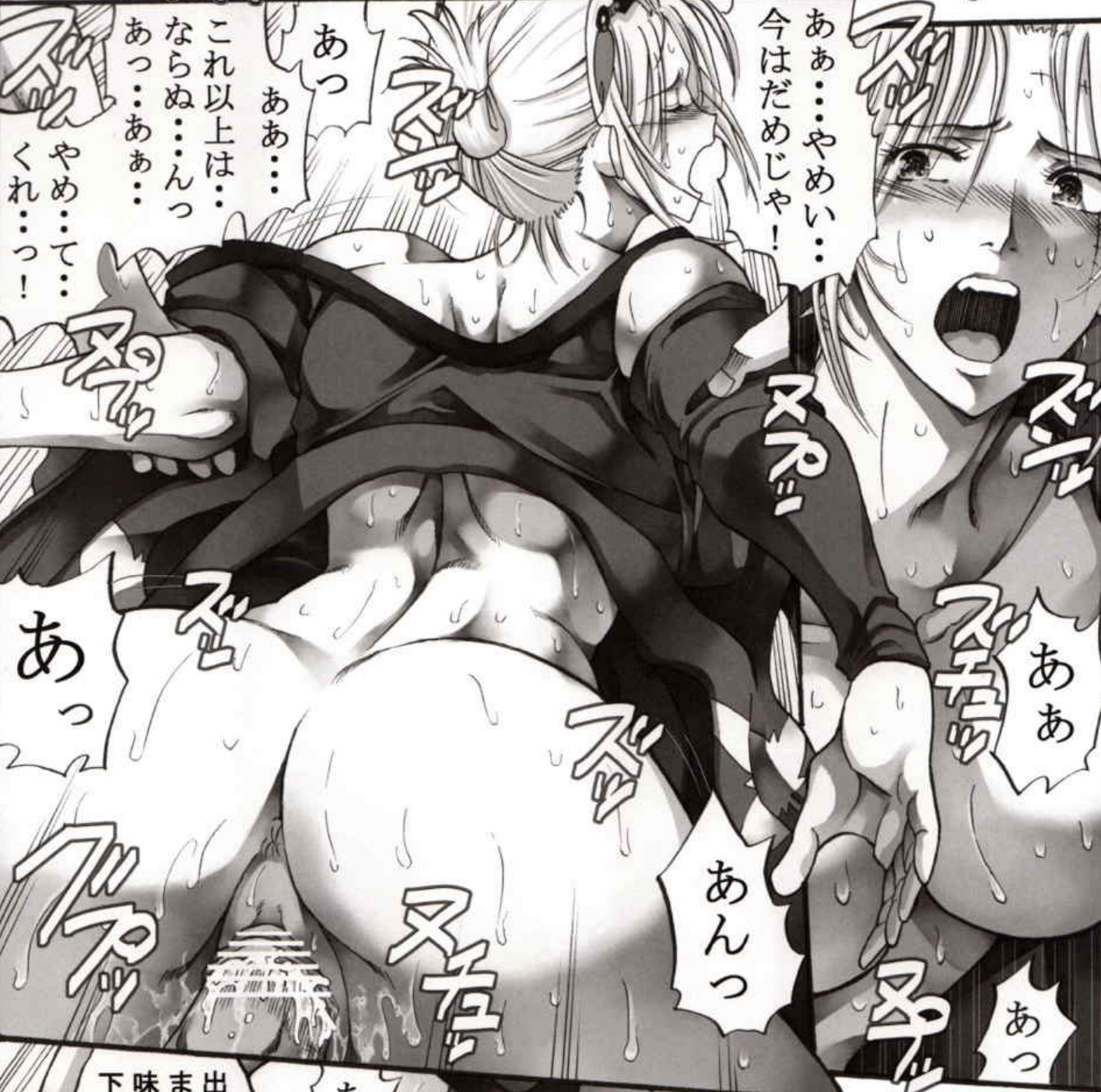
あっしも  
出しちまい  
ますぜ



ああ...やめい...  
今はだめじゃ!

ああ...

これ以上は...  
ならぬ...んっ  
あっ...ああ...



ああ

あんっ

あっ

そいつあ  
今更でしようよ  
一緒にイキま  
しょうや

あんっ  
だめっ...

あっ

出しちまい  
ますぜ!  
味わって  
下せえよ!

やめい!  
やめっ...!





あ  
あっ  
あ……  
!!!!

……っ  
あっ  
!

ん……!  
……っ



はあ  
はあ

はあ  
はあ



はあ  
素直に  
なってみる  
もんでしょ  
どうです？  
悪かない  
でしょう？

はあ



こんな  
気持ちの  
良い事は他に  
ありませんぜ

あん!  
あっ  
いっ  
いっ  
いく……!

あっ!  
あっ!

イ……ク……ツ……  
ああ  
!!!!

あ!



済まぬ  
皆……

ああ

わっちはもう  
駄目かも  
知れぬ……

あっ



へえ…  
どこにでも  
鼻の利く奴あ  
いるもんだ



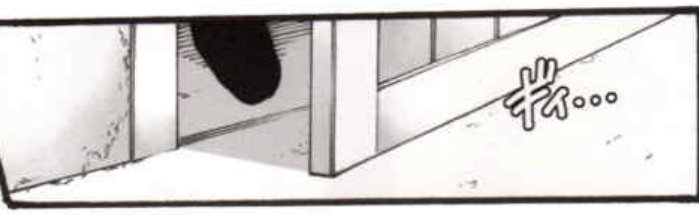
!



しかも  
一人

随分と  
肝の太え  
野郎だ

がー



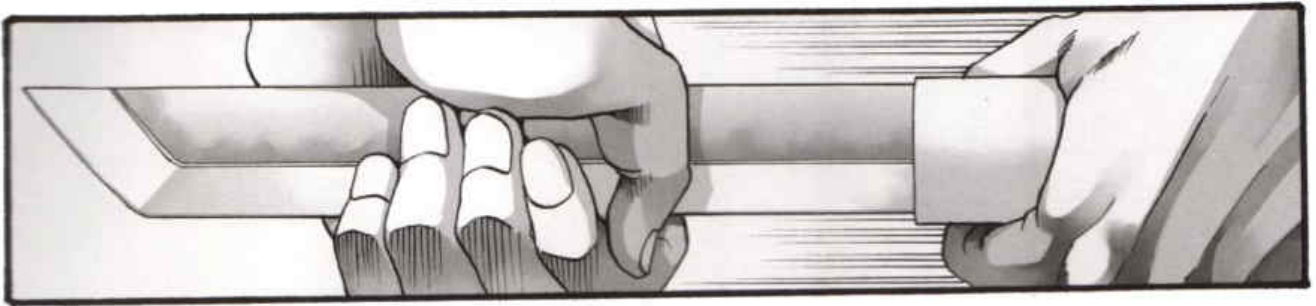
※…



そいつあ  
無用心が  
過ぎらあ!

!!!





月  
井  
水  
古  
れ  
て  
ま  
う  
詩  
さ  
ら  
に  
ま  
ま  
が  
う  
詩  
4